

小宅由似さん

OYAKE YUI

香川大学創造工学部
建築・都市環境コース
助教・博士（農学）



勉強が大嫌い、理系が苦手… そんな私を変えた「森」の魅力



▶ 私が理系?!と驚いた高校の進路選択

大学進学が当たり前の進学校でしたが勉強が大嫌い、唯一得意な科目は現代文。だから、担任だった数学の先生に「考え方が理系だから理系に進んだ方がいい」と勧められてびっくりしたんです。物理も数学も論外で生物・地学を選択し、高校3年の夏、京都・芦生研究林で活動する研究者たちと交流する合宿に参加しました。私は森のことを何も知らない、実はとても面白い分野なんじゃないかと気づいて、合宿を終えるなり「農学部で森の勉強をします!」と宣言。森林の生態を学べる環境を探して近畿大学へ入学しました。数学は今も相変わらず苦手です。

▶ 迷いながらも掴んだ研究者への道

桜の成長をテーマとする卒論に取り組んでいた時、ちょうど奈良・吉野山で桜を調査していた京都大学のチームに加えてもらい、院生や先生方の話を聞くうちに「このチームと一緒に調査したい」と決意。京都大学の大学院に合格してさあやるぞ!と思ったら肝心の調査チームは既に解散していてショックを受けたりもしましたが、住宅地の斜面緑地の調査を通じて「法面（人工斜面）」というテーマの面白さに出会ったことが、今の研究につながっています。周囲にバリバリ研究に打ち込む院生が多かったことも、博士号を取って研究の道に進む覚悟を後押ししてくれました。

▶ 「まちの緑」の魅力を多角的に発信

現在は、市街地や周辺部の緑地の植生調査、香川でも2019年頃から広がっている伝染病「ナラ枯れ」の現状把握、文化財で法規制も多い宮島での斜面造成・緑化計画、四国的高速道路沿線での斜面の植生遷移の調査など、さまざまなテーマに緑化学の見地からかかわっています。まちの植物が元気になれば、私たちにもたらされる恩恵も増えます。私の研究成果が、高速道路の緑地や街路樹などの植栽を適切かつ効率的に管理するノウハウにつながり、まちにいい環境をもたらすことができたらうれしいです。

Profile

大阪府生まれ。2012年に近畿大学農学部卒業後、京都大学大学院農学研究科へ進み、森林科学を専攻。同科で博士号を取得後は、博士研究員（ポスドク）や私立大学での勤務を経て、2020年から香川大学創造工学部で助教を務める。

▶ 2024年、白馬にて…

趣味は小学校以前から続けているスキー。近年は雪不足に悩まされたりしながらも、技術検定1級合格を目指してスキルを磨いています。



中高生への Message

今考えると、小学校から高校まで勉強が大嫌いだったのは「学びがどこにつながっているかわからなかった」からでした。それが研究林での合宿や吉野の調査活動などを体験し、面白くなってきたんだと思います。だからこそ、若い人たちにもぜひいろいろ「体験」してほしい。学習でも遊びでもいい、いろんな体験を通じて、学んだことが結びついていく面白さを味わってください。

創造工学部
建築・都市環境コース

都市や建築物のデザインには、安心、便利、快適さに加え、自然環境や風土、歴史文化を読み取り、活かすことも大切です。地域の読解力、分析力、構想力、設計力をトータルに学びます。

